

日本自動車研究所ではエコドライブによるガソリンや温暖化ガス削減効果について検討を行っています。

ここでは、エコドライブの一例として、エコドライブ普及連絡会にて推奨している運転方法を紹介します。

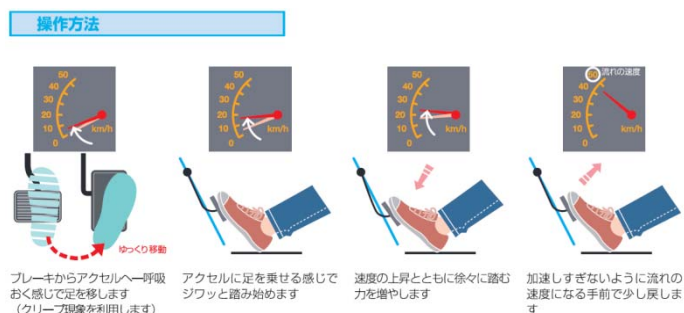
### <エコドライブ10のすすめ>

- (1)eスタート
- (2)加速・減速の少ない運転
- (3)早めのアクセルオフ
- (4)適切なエアコン使用
- (5)不要なアイドリングの削減
- (6)渋滞の回避
- (7)適切な空気圧
- (8)不要な荷物を積まない
- (9)迷惑駐車をしない
- (10)燃費情報の把握

走り方を変えることにより、燃費が改善できる方法を詳しく解説します。

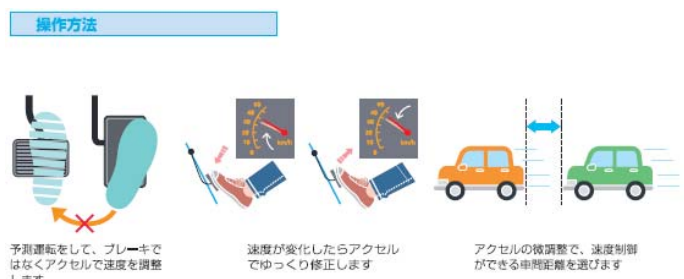
#### (1) eスタート

自動車は発進時に多くの燃料を消費します。ふんわり加速(5秒で20km/h)を行うと、10%燃費※1が良くなります。



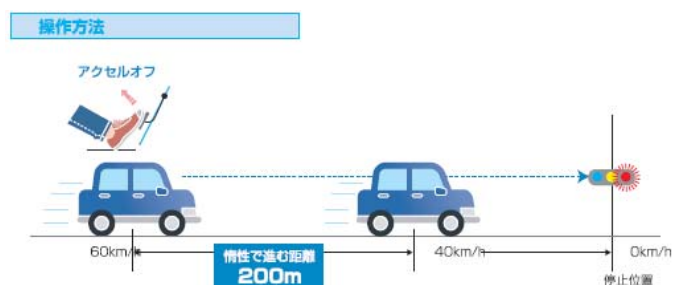
#### (2) 加減速の少ない運転

自動車は加速する回数が多いと、燃料の消費量が増加します。加速回数を少ない運転を行うことで、2~6%燃費※2が良くなります。



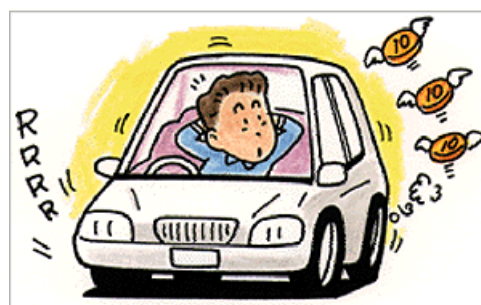
#### (3) 早めのアクセルオフ

停止が分かった場合や下り坂での早めのアクセルオフを心がけた運転を行うと、燃費が良くなります。早めのアクセルオフを行うことで、2%燃費※3が良くなります。



#### (4) 不要なアイドリングの削減

人や荷物の乗り降りなどによる、駐車、停車時にはアイドリングストップをすることで、10分間で130cc程度のガソリンが節約※4できます。



※1~3: 環境省公表値より引用。実施条件により効果は異なります。  
 ※4: 実施条件により効果は異なります。